

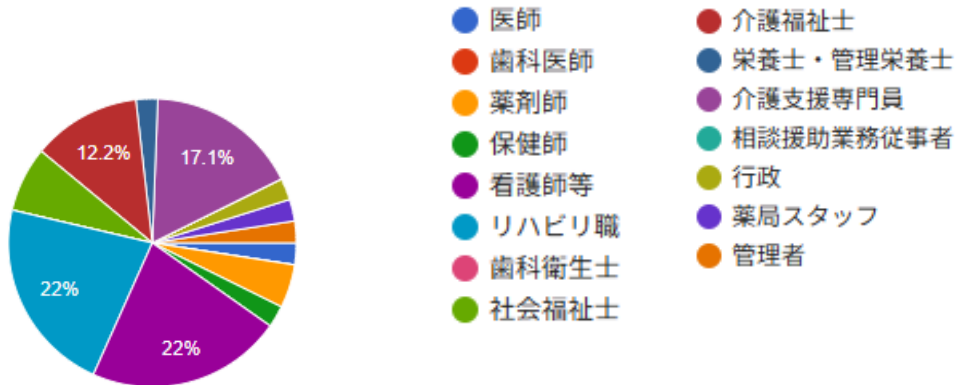
第39回「在宅医療サークル」アンケート結果

【内 容】多職種による事例検討
「今後も増え続ける身寄りがない人の支援を考える」
事例提供者：島原市福祉課 地域福祉班 寺田 恵 氏

参加者55名

1、職種：現在従事している主となる職種（一つ選択）

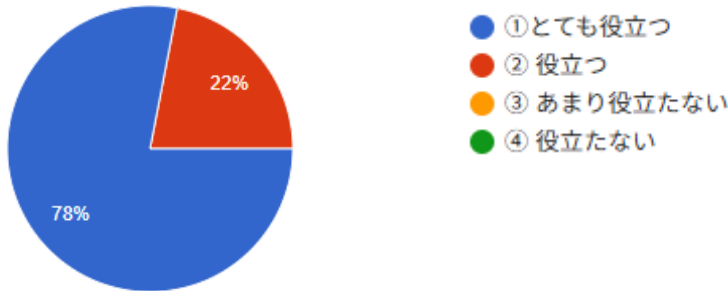
41 件の回答



2、本日の内容について

（1）本日の事例検討は業務に役立つと感じましたか

41 件の回答



今回の事例検討を通して印象に残った点や、今後の業務に活かせると感じたこと、また全体を通したご感想などをご記入ください。（27件）

1. 他職種の方と一症例に対して問題点、対策案を話し合うことができ良かったです。勉強になりました。
2. 多職種が集まると自分が知らない話が出てきて学びになる
3. 今回の事例検討では、他職種の参加により多角的な意見が出され、事例をさまざまな視点で考えることができました。今後も多職種で意見を出し合い、よりよい支援につなげていきたいです。
4. 身寄りがない人の支援は難しいと感じた。地域の方たちと協力していくことが第一だと思った。
5. いろんな社会資源があるなと思った。
6. 身寄りのない人への対応について、多職種の意見を聞く貴重な機会をいただきありがとうございました。地域の方々を含め、多職種で関わることの必要性を感じました。
7. 多数の職種があっても支援の難しさ。他職種の関われる条件など知らないことが多く、もっと学ぶ必要があると感じました。

8. 多職種で意見交換すると様々な意見がでるのでいつも参考になります。。
9. 頼れる身よりのない人の支援は、大変だが、本人にとともに考えてくれる福祉課や多職種がいて心強く感じた。
10. 支援体制の発見がありました。
11. 連携・在宅医療サークルの大切さを改めて感じました。専門職種だけではなく、地域の方や、ご本人と関わりのある方々との連携も重要だと学びました。
12. 市の方にこんなに関わってもらえる相談先がふえました。
13. お互いの連携が必要だと思った。
14. 市の福祉課の方が事例提供をして下さって、協力して下さるお声が聞けてよかったです。コミュニティが変わることにも思いを寄せたいと思いました。
15. たくさんの連携があり、その方に合ったサービスを受けてもらうことの大切さを学びました。ふだん介護の目線で対利用者様のみばかりですので、よく勉強となりました。ありがとうございました。
16. 1つの事案を通して介入する方法を考えることで新たな知識を学ぶことができた。
17. 制度の多さ
18. 今回の様なこ独な方が増えているので在宅医療サークルで連携を図っていく必要がある。
19. 多職種の方との関りで、様々な意見や考えを聞くことができ、とても良かったです。
20. グループワークを通して、いろんな職種の意見を聞くことができとてもいい勉強になりました。
21. 各職種によって、提供できる内容が違って大変勉強になりました。
22. 初めて参加しましたが、ワールドカフェで他グループの意見も聞きながらまとめることができ、理解が深まったように感じました。
23. 以前も在宅医療サークルの研修会に参加させて頂いたことがありました。毎回違う学びが得られるので、次回も参加させて頂ければと思います。
24. 今後、同じような事例があった際に参考にしたい。
25. ケアマネさんの専門的な知識からの意見がとても勉強になりました。多くの意見が聞けありがとうございました。
26. 頼れる身寄りがない方は、早めにACPの確認や、関係機関との連携を図る必要があると感じました
27. 色々な目線からの意見を聞けてよかった

3、今後、深めたいテーマがあれば教えてください（5件）

1. 人生会議を普及させるにはどうしたらいいか
2. 身寄りのない高齢者や支援拒否のある高齢者に対して、本人の意思を尊重しながら安全確保と自己決定支援をどのように両立していくか、多職種でどのように連携し支援していくかについて学びを深めていきたいです。
3. 看取りについて
4. 今回の事例を通して、各機関が実際に対応できる範囲や内容を知りたいと思った。
5. 意思確認できないケース